

設立20周年に寄せて

心豊かな国際社会の構築を目指して・・・



神田外語大学名誉教授
社団法人
全国外国語教育振興協会
理事長 井上和子

全国外国語教育振興協会は、「自由競争を妨げることなく協調しあい、切磋琢磨する」という理念のもとに、平成3年9月に設立され、爾来20年の長きにわたり、情報・意見交換会、各種研修会、講演会、調査研究等の事業を展開し、日本の民間外国語教育の健全な発展と生涯学習の普及・振興に努めてまいりました。

とりわけ、将来国際社会へはばたくであろう「子どもたち」に対する外国語教育では、公教育と民間教育が連携・協力し合い、日本の外国語教育充実のためにたゆまぬ努力を続けてまいりました。

本日、設立20周年の記念式典を開催できる喜びを皆様と分かち合うとともに、今一度気持ちを引き締め、創意ある外国語学習環境を整備することにより、今後とも社会に貢献してまいりたいと存じますので、変わらぬご指導・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

全外協設立20年の軌跡・・・



桜美林大学名誉教授
元文部省生涯学習局
社会教育官
瀬沼克彰先生

わが国の生涯学習は、昭和62年、中曽根内閣直属の臨時教育審議会答申で「教育改革推進大綱」に基づいてスタートした。この答申で最も重視されたのは、学校教育中心の教育体系から生涯学習体系への移行と民間活力の誘導ということであった。この目的達成のために、昭和63年7月文部省に筆頭局として生涯学習局が新設された。

私はこの年に、私立大学の助教授から、社会教育官として招かれて、民間活力の誘導の仕事に従事した。最初の仕事は、全国のカルチャーセンターの組織化で、つぎに、外国語学校・教育機関の組織化である。当時、外国語学校の高額な授業料、倒産などが問題化し、正常化が求められていた。国会から文部省の責任が問われた。外国語学校の正常化と健全な発展のために、行政として全国組織の必要性が求められた。学校側も自主対応の議論が活発化していた。

そこで、私的研究会として、平成元年度に在京の主たる学校の担当者に文部省に来てもらって、月1回の研究会を行い、全国組織のための規約、事業内容などを検討してもらった。メンバーの人達は、実に熱心で、役員を決めて、役割分担に基づいて、書類の作成、会員の募集などの活動に入っていた。

こうしてスタートした全外協は、現在会員校も厳しい入会審査を経て合格した72社に増え、人々の外国語の取得、国際交流に多大の貢献をしている。全外協の20年間の関係者の尽力によるところ大であると思う。

全外協20年の歩み

- 平成3年(1991年)9月11日
任意団体 全国外国語教育振興協会 設立
- 平成4年(1992年)10月
通商産業省(現経済産業省)主催「継続的役務取引適正化研究会」参加
- 平成5年(1993年)11月
全外協ガイドブック創刊(加盟校リスト、語学学校の選び方などを掲載)
- 平成5年(1993年)9月～平成7年(1995年)3月
文部省(現文部科学省)委嘱事業「生涯学習社会における民間外国語教育施設の在り方に関する調査研究－施設実態調査・学習者ニーズ調査・施設ヒアリング調査－」実施
- 平成6年(1994年)3月
民間外国語教育施設の運営に関するガイドライン策定
- 平成7年(1995年)11月
安心して学べる全外協のロゴマーク制定(商標登録)
- 平成9年(1997年)6月
文部省(現文部科学省)委嘱「英語のコミュニケーション能力の客観的測定・証明方法等に関する調査研究」実施
- 平成10年(1998年)7月
オーラルコミュニケーション検定「SITE(Standard Interview Test of English)」開始
- 平成12年(2000年)5月
文部科学省「地域ですすめる子ども外国語学習の推進－指導者交流フォーラム」参加
- 平成15年(2003年)10月
全国外国語教育振興協会 文部科学省 生涯学習政策局 生涯学習振興課所管の
社団法人として認可される
- 平成17年(2005年)7月
「愛地球博こども環境サミット2005」協賛
- 平成18年(2006年)4月
NCB英会話教習所倒産に伴う受講生救済
- 平成19年(2007年)10月
NOVA倒産に伴う受講生救済
- 平成20年(2008年)4月
ISO/TC232 国内審議委員会協力参加
- 平成23年(2011年)9月11日
任意団体として設立後20年となる

全国外国語教育振興協会設立総会
総会次第

- 一、開会の辞
- 二、議長選出
- 三、議長挨拶
- 四、経過報告
- 五、議事
 - 第一号議案 設立趣意書の承認
 - 第二号議案 規約類の承認
(規約、入会手続き及び入会資格
倫理規定、会費規定)
 - 第三号議案 平成三年度事業計画
 - 第四号議案 平成三年度予算
 - 第五号議案 役員選出
- 六、役員紹介
- 七、会長挨拶
- 八、来賓祝辞
- 九、閉会

以上

3年の準備期間を経て
平成3年9月11日
赤坂・全日空ホテルで設立総会を
開催しました。
設立時の加盟校は24校でした。



文部科学省主催
「全国生涯学習フェスティバル」に
平成3年から平成16年まで毎回
参加しました。「まなびピア富山大会」
での故木田宏先生。



平成16年10月韓国の「(社)全国外国語教育協議会」の役員が来日され
全外協加盟校の皆様と親睦を深めました。



平成16年10月
中国大連市解放小学校訪問
3ヶ月の集中トレーニングを受けた
ノンネイティヴによる
英語の授業を見学しました。



平成20年10月
宮城明泉学園の
イマージョンプログラムを見学しました。
英語教育に情熱を燃やす
素晴らしい先生方との出会いがありました。



平成19年11月
帯広の加盟校ジョイ・イングリッシュ・アカデミー
開校30周年記念パーティで大杉正明先生と
英語落語の名人 桂かい枝さんと。
(この仕事を続けていて本当に良かったです！藤本)



平成21年5月
字幕翻訳家戸田奈津子さんをお迎えして
特別講演「スターと私の映会話」を
主催しました。
日本語力と英語力について
含蓄のある話を聞かせてくださいました。